

Research：各種調査等による実態

【学校の実態】

- ・児童数363名
- ・通常の学級12学級
- ・自閉症・情緒障害特別支援学級3学級
- ・特別支援教室拠点校
- ・教員30名
- 主幹教諭(2) 主任教諭(16) 教諭(12)

【児童の実態】 区平均との比較

- (1) 区学力調査：全体的な傾向として区平均を上回っており、学年が進むに従って区平均以上になる傾向が見られる。
- (2) 四者評価：「学校は楽しい」との回答が %以上である。／「授業がよく分かる」との回答が %以上である。
- (3) 体力調査：体力合計点数は、区平均を上回っている。やや低い傾向にある項目の向上が課題
- (4) 進路：毎年度、国立、私立、都立中学校を受験して進学する児童がいる。

【保護者・地域の実態】

- ・四者評価結果
学校の雰囲気・学習環境について、保護者・地域の肯定的な回答が %以上である
- ・PTA や住区の特徴
住区の活動が活発で、年間を通して学校を会場とした地域行事が行われている

校長の経営方針

次代を担う子どもが輝き、命のバトンをつなぐ

自尊感情や自己肯定感を高める学校

- ◆自ら学び新たな学びへ向かう学校
- 研究開発学校・デジタルを活用したこれからの学び・ユネスコスクール

- 40分授業午前5時間制のビジョン
- 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善
- ➡確かな学力の育成
- 生み出された時間の活用
- ➡児童の学びの質の向上・教員の指導の質の向上

- ◆安全で安心な学校
- ◆教職員が学び続ける学校

学校の教育目標

持続可能な社会の実現のために行動できる将来の担い手となる子どもを育てる。

- よく考える子
 - 心ゆたかな子
 - 元気な子
 - やりとげる子
- ・自己を高めるとともに自己実現に向けて行動できる子
 - ・自他を尊重し、ともに生活を築いていこうとする子
 - ・困難を乗り越えることができる強い意思をもった子
 - ・目標をもち最後まで取り組むことができる子

P

【指導の重点】

○学習指導

- ・主体的、対話的で深い学びを実践し、授業の質を高める。
- ・ESD を全ての教育活動と関連付ける。
- ・デジタルを活用した新たな学びを意識し、ICT を日常的に活用し、学習内容の確実な定着や学習を深める。

○生活指導

- ・人権尊重についての正しい理解と認識を基礎とした教育活動推進
- ・「五本木小5つのやくそく」を意識した指導
- ・週1回の生活指導会議による児童の実態共有 不登校・いじめ対応

【午後の活用】

○児童

- ・20分間の五本木タイムを活用して自己選択学習を実施
- ・20分間の五本木タイムでユネスコスクールとしての取組を推進
- ・異学年交流のたてわりの活動
- ・とも遊び

○教職員

- ・授業研究等、研究の推進
- ・校内OJTの計画的実施(月1回)
- ・校内委員会の実施(月1回)
- ・月曜の午後に諸会議を集中
- ・教材研究
- ・定時退勤日の設定(月1回)

D

..... 40分授業午前5時間制を生かすPDCA

自己選択学習 ●五本木タイム(年45時間)
(前期)20分×45回 (後期)20分×45回

自分自身が学びの見通しをもち、学びの方法や進度を選択し、学びを進める学習
第1学年では、共通の課題を、共通の学び方で解決し、学び方を知る。
第2学年では、共通の課題に対して、学び方を各自で選択する。
第3・4学年は、選択課題候補一覧を基に、自らが選び、学習計画を立て、学びをマネジメントしていく。
第5・6学年は、選択課題候補一覧を参考にし、自ら課題と学習計画を立てて、学びをマネジメントしていく。
【年間スケジュール】

	【前期】 4月～10月			【後期】 10月～3月		
課題	1サイクル	2サイクル	教科課題	3サイクル	4サイクル	教科課題

※ ユネスコにかかわる課題については、候補一覧から選択してもよいこととしている。

【学年別 課題設定】

	課題	学び方
1年	共通	共通
2年		選択
3年	候補一覧から選択	自ら設定
4年		
5年	自ら設定	自ら設定
6年		

【児童学習計画書例】



各学年の時数内訳

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
標準授業時数	865	925	980	1015	1015	1015
上回る時数	0	0	0	0	0	0
学校裁量	77 1/2	69 1/2	64 1/2	66	65	66
行事時数	43 1/2	37 1/2	45 1/2	46 1/2	75 1/2	69
総時数	986	1032	1090	1127 1/2	1155 1/2	1150

自ら学ぶ姿勢の確立

時間割例 第5学年

29.5 コマ

校時	時程	月	火	水	木	金
1	8:35～	1	2	3	4	5
2	9:20～	6	7	8	9	10
3	10:05～	11	12	13	14	15
健康スポーツタイム(10:45～11:05)						
4	11:05～	16	17	18	19	20
5	11:50～	21	22	23	24	25
給食・清掃(12:30～13:30)						
	13:30～	昼休み		委員会		たてわり班
五本木タイム	13:45～	26.5	27.5	28.5	29.5	
6	14:05～					

A

改善検討組織

- 主幹会議
- 研究推進委員会
- ・授業部・開発部
- 生活指導部
- 特別活動部
- ICT推進委員会



C

	評価指標	目標値
児童	区学力調査(学力)	国語達成率平均値 %
		算数達成率平均値 %
	学校評価(意識)	「学校は、楽しいですか」肯定的回答平均値 %
保護者		「授業は、よく分かりますか」肯定的回答平均値 %
	学校評価	「学校の教育活動には満足している」肯定的回答平均値 %
		「学校の教育目標や指導の重点は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっている」肯定的回答平均値 %

自尊感情測定尺度
(東京都版)
R7.五本木小学校

C 自己主張・自己決定【3. 〇】

